



精力的に活動しています！活動の一部をご報告します

2025年1月～2025年7月

交流



広島にて知事と男子駅伝大会の応援

就任



危機管理建設委員長に就任

交流



県生コン工業組合総会に
危機管理建設委員長として参加

交流



ひげの隊長こと佐藤正久議員と交流

調査



地元の河川を現地調査

視察



食肉市場を視察

視察



チャイルドホーム現地視察（岡山県奈義町）

交流



お田植え祭り（森将軍塚古墳館）

就任



信州水士里ネットりんどうの会
顧問に就任

視察



あんず祭りを視察

交流



ガールスカウトの関係者と交流

交流



酒蔵開きにて餅つきで交流

6月 定例会一般質問

太陽光パネルの適正な処理と
リサイクル推進について

（１）今後、大量廃棄が見込まれる太陽光パネルの適正な処理・リサイクル体制の整備に向けて、長野県としてどのように取り組んでいくのか。特に、放置パネルや不法投棄の防止、回収・再資源化体制の構築、地域での処理基盤の整備について伺う。

（２）新たなリサイクル制度の導入を見据え、県内の太陽光パネルの製造・解体・処分事業者の登録や育成、循環型ビジネス創出に向けた支援策を検討すべきと考えますが、見解を伺う。

（３）ペロブスカイト太陽電池など新たな軽量・高効率の技術が登場しているが、こうした新技術の普及に長野県が積極的に取り組むべきではないかと考える。県の戦略について伺う。（以上、小林環境部長）

公立学校施設における
体育館等への空調整備について

（１）令和7年度中の整備実施に向けた支援事業については、今年2月に募集が開始され、4月には内定が出ていると聞く。現時点で、県内各市町村の教育委員会における対応状況について伺う。

（２）県立学校の体育館における空調整備も極めて重要と考えるが、整備状況及び今後の見通しについて、教育委員会の対応方針を伺う。（以上、武田教育長）

若年層の市販薬オーバードーズ
問題への対策強化について

（１）県内小中高における薬物乱用防止教育の実施状況と、学校薬剤師をはじめ関係機関との連携体制について伺う。（武田教育長）

（２）県内の薬局やドラッグストアで、若年層による乱用リスクの高い医薬品（鎮痛薬・咳止め等）の販売管理や、声かけの実態について把握しているか。また、販売店への注意喚起・ガイドライン策定などの対策を講じる考えはあるか伺う。（笹渕健康福祉部長）

デジタルの力でつくる、全ての人に
優しい福祉と子育て環境について

（１）市町村の子育てや福祉関連をはじめとした行政手続のオンライン化が進むよう、市町村との連携をどのように図っているのか、取組状況を伺う。

（２）マイナンバーカードの利活用が進む一方で、高齢者や障がいのある方子育てで忙しい家庭など、申請など不安を感じる方へのサポートは欠かせない。市町村窓口や地域包括支援センター、福祉施設等と連携し、申請・登録に不安のある方への丁寧な支援体制が必要と考える。現時点での県の支援方針と今後の強化策について伺う。（以上、中村企画振興部長）

（３）県が所管する公費負担医療制度の対象者情報について、オンライン資格確認の仕組みへの対応を進めるとともに、県内市町村に対して積極的な情報提供と支援を行い、県全体で利用者に優しい医療提供体制の構築を目指すべきと考えるが、所見を伺う。（笹渕健康福祉部長）

県立歴史館及び県史編纂さんについて

（１）展示の運営について、現在どのような職員体制で臨んでいるのか。また、来場者からはどのような反応があるのか、施設運営の現状を伺う。さらに、運営の中で見えてきた課題があれば、併せて伺う。

（２）新しい史編さん大綱では、来年度から10年間で編纂を行うと掲げているが、期間内の刊行に向けての取組状況と今後の見込みについて伺う。（以上、直江県民文化部長）

（３）歴史的な遺産を後世に残し、かつ、子どもたちの学びや興味を引き出す意義ある施設とするため、県立歴史館の建替えを含め、今後の方向性について伺う。（阿部知事）

長野県議会議員：竹内正美プロフィール

● 長野商業高校卒業 ● 千曲市土口出身/坂城町上平在住 ● キャリアコンサルタント（国家資格） ● 産業カウンセラー ● 信州おもてなしマイスター ● 防災士 ● 唎酒師
● 自民党長野県連女性局長 ● 自民党長野県千曲市・埴科郡第一支部長 ● 令和7年度 危機管理建設委員会 委員長

JIMIN Nagano

2025
Summer

6月議会

4月より長野県議会自由民主党県議団は新体制となり、新たな一歩を踏み出しました。これまで団を支えてきた前体制の経験をしっかりと引き継ぎながら、変わらず県民のみなさんの声に寄り添い、現場を大切にする姿勢で県政に向き合っていきます。

自民党県議団 新体制（主な役員）

団長 佐々木 祥二



豊かで住みよい元気な長野県に！
県議会における責任ある政党として、
県が抱える諸課題に積極的
に対処するとともに、未来に向け
た政策を提言してまいります。

幹事長 丸山 栄一
政調会長 寺沢 功希
相談役 風間 辰一
副団長 小池 清
広報広聴本部長 山岸 喜昭

令和7年度 6月補正予算

一般会計

38億5661万8千円を可決

県議会6月定例会では、物価高騰や米国関税措置への支援策、医療等提供体制や教育環境の整備、地域公共交通の維持・活性化等に係る補正予算案などが提案され、全会一致で可決しました。

自民党県議団からは9名の議員が一般質問に立ち、県政の道筋、地域振興、危機管理、健康福祉、商工業、農林業、インフラ整備、教育など幅広い分野にわたって課題を取り上げ、今後の方針について理事者に質すとともに、各常任委員会でも活発な議論を行いました。

補正予算による主要事業の例

「物価高騰・米国関税措置支援パッケージ1.0」の実行

28億6155万4千円

◆米価高騰対策として、フードバンクへの食料配布拡大、酒蔵の県産酒米購入費用への補助など

◆ガソリン価格表示の実態調査、LPGガス利用者に対する料金支援

◆米国関税措置の影響を受ける事業者支援のため、制度資金の貸付メニューを創設

◆米国以外への海外販路拡大や、国内販路開拓を支援

医療等提供体制の整備

5億8435万5千円

◆診療所の承継・開業を支援、特に医師の確保が必要となる地域の医療提供体制を確保

しあわせ信州「ノウフク」プロジェクトの実施

1599万4千円

◆「農福連携」の推進や認知度向上のため、集中的な広報・啓発活動を展開

教育環境の整備

2億9795万6千円

◆県立高校再編や児童生徒の増加に対応するための特別支援学校の施設整備

一事への緊急要望

米国の関税措置への対応とガソリン及び米価高騰対策について、4月30日に緊急要望を行いました。米国による一方的な関税措置は、県内の製造業や関連中小企業に深刻な影響を及ぼす可能性があり、また、米やガソリンの価格高騰が県民生活や地域経済に打撃を与えている現状を踏まえ、迅速かつ具体的な対策を講じるよう強く求めました。時機をとらえたこの要望が補正予算に反映され、諸課題への対応策が実現しました。



緊急知事要望

自民党県議団の発議による国への意見書

- 大規模災害から住民の命を守るために消防団員の確保を求める意見書
- 沖縄戦戦没者の遺骨収集の着実な推進を求める意見書
- 米の安定供給及び生産基盤強化を通じた食料安全保障の確保を求める意見書
- 診療報酬の引上げを求める意見書
- 訪問介護の基本報酬の引上げ及び事業所経営再建への支援を求める意見書



意見書の詳細は
こちらからご覧になれます

地域公共交通の維持・活性化
6195万7千円

◆バス路線の廃止に伴い、代替手段が確保されるまでの間の運行延長経費を支援

長野県150周年記念に向けた取組の実施
1023万9千円

◆令和8年に長野県150周年を迎えるに当たり、機運醸成に向けた情報発信等